

令和4年度岩手県栄養士会生涯教育研修会のご案内

公衆衛生 管理栄養士・栄養士の皆様へ

岩手県栄養士会公衆衛生職域会担当理事
菊池 絵美（岩手県釜石保健所）

毎日のお忙しい業務、お疲れ様です。

岩手県栄養士会では、管理栄養士・栄養士が科学的技術根拠をもった専門知識の向上を図るための研修会を様々企画しています。

「多職種協働」が求められる中で、私たちが専門職としての技量を持ち、連携を保った業務推進は不可欠です。

特に本年度は、全国的に著名な講師を迎えていますので、公衆衛生職域の皆様もぜひ受講して下さいようご案内いたします。

■研修プログラム

期日	時間	テーマ	講師名
7/23 (土) アイーナ 804A	午前★ 10:30～12:00 (リモート)	嚥下調整食分類 2021 の要点	県立広島大学人間文化学部 教授 栢下 淳 先生
	午後①★ 13:00～14:30 (リモート)	管理栄養士でもできる嚥下評価、食形態を選択するポイント 嚥下調整食分類 2021 に準じた調理ポイント	県立広島大学人間文化学部 教授 栢下 淳 先生 広島修道大学 健康科学部 教授 栢下 淳子 先生
	午後② 14:45～16:15 (リモート)	嚥下調整食分類 2021 に準じた調理ポイント	広島修道大学 健康科学部 教授 栢下 淳子 先生
お勧めポイント	<p>地域包括システムが推進している中、食事についても連携が求められています。 嚥下調整食に分類コードがあることをご存じですか・・・。 本研修では嚥下調整食分類 2021 の検討メンバーを務めるなど嚥下調整食に関して著名な栢下先生から嚥下機能の低下した高齢者の栄養管理、食形態選択のポイントから調理法まで実践的なお話を伺います。</p>		
8/7 (日) アイーナ 804A	午前 10:30～12:00 (調整中)	高齢患者の栄養アセスメントの極意	東京医科大学病院 栄養管理科 科長 宮澤 靖 先生
	午後① 13:00～14:30 (調整中)	栄養指導内容は患者さんに伝わっていますか？	
	午後② 14:45～16:15 (調整中)	栄養部門のメジャーデビュー － コスト削減部署からコスト生産部署へ －	
お勧めポイント	<p>講師の宮澤先生は、日本の医療に NST（Nutrition Support Team＝栄養サポートチーム）を広めた立役者で、臨床栄養管理の第一人者です。 「栄養の専門家」としてモチベーションがあがること間違いなし！不得意な病態栄養についても、しっかり理解を深め、自信を持って栄養指導に携われる実践的なサポート方法が学べます。</p>		

★ 必須的な学習内容であるため、実務経験3年未満の岩手県栄養士会会員については受講料無料とします。

・「リモート」とは、講師が現地からのライブ配信による講演。「来場」は、講師が直接会場にお越しいただき、対面式による講演になります。

期日	時間	テーマ	講師名
8/20 (土) アイーナ 804A	午前★ 10:30～12:00 (来場)	より良い研究発表をするために	岩手県立大学ソフトウェア情報学部 准教授 樽松 理樹 先生
	午後① 13:00～14:30 (来場)	研究だけではない、毎日の業務に生かす 栄養統計 1	社会医療法人ジャパンメディカルアライア ンス 海老名総合病院 医療技術部 栄養科 科長代理 齊藤 大蔵 先生
	午後② 14:45～16:15 (来場)	研究だけではない、毎日の業務に生かす 栄養統計 2	
お勧め ポイント	<p>少人数配置で健康課題解決のため企画、立案、実施と多忙な毎日ですが、「何しているかわからない」と言われることも多いのが行政栄養士。日々の業務に追われ、出来れば研究発表は避けたいと思っ ている方も多いと思いますが、業務内容・取組内容を発表し、私達の活動を知ってもらうことも大切な業務です。 まずは発表の基本から学びましょう。</p> <p>次年度、健康増進計画の評価を控えている自治体が多いのではないのでしょうか。研修直後から活用でき る統計のお話を栄養士目線でお話しいただきます。</p>		
9/10 (土) アイーナ 804B	午前 10:30～12:00 (リモート)	臨床現場からエビデンスを発信するための コツ — 臨床研究と論文執筆 —	一般社団法人是真会 長崎リハビリテ ーション病院 教育研修部・栄養管理室 副部長・室長 西岡 心大 先生
	午後①★ 13:00～14:30 (来場)	地域防災計画等における要援護者支援 について (仮称) 特殊栄養食品ステーションを配した管理 栄養士支援 (仮称)	岩手県復興防災部防災課 担当者 岩手県栄養士会 会長 澤口 眞規子
	午後② 14:45～16:15 (来場)	大災を教訓としたアレルギー対策について (仮称) 我が町の栄養・食生活支援連携について (仮称)	いわてアレルギーの会 代表 山内 美枝 氏 市町村管理栄養士
お勧め ポイント	<p>災害時、不特定多数の住民が利用する避難所は市町村が設置する給食施設といっても過言ではありま せん。毎年全国で発生している自然災害ですが、長期化するケースも多く、避難所の栄養・食生活の整備 が急務となっています。</p> <p>県や市町村の防災担当者は栄養士に何を求めているのか、栄養士は災害に備え何をすればいいのか。 この研修を通して発災時に機能する栄養管理体制を整備するため必要なことを確認しておきましょう。</p>		
12/18 (日) アイーナ 812	午前★ 10:30～12:00 (リモート)	診療報酬改定に見る管理栄養士業務 (仮称)	駒沢女子大学 人間健康学部 健康栄養学科 教授 東京都栄養士会長 西村 一弘先生
	午後① 13:00～14:30 (リモート)	管理栄養士・栄養士の業務を 研究的視点で「見える化」しよう	上越教育大学大学院 学校教育研究科 教授 野口 孝則 先生 ※講演中に Zoom のチャット機能を利用し て、先生から直接資料データを配布する予定 です。データの受信・保存ができるよう、可能 な限り PC を用いた Zoom 受講をお願いいた します。
	午後② 14:45～16:15 (リモート)	栄養管理（栄養教育・栄養カウンセリ ング・給食管理）を研究する秘訣	
お勧め ポイント	<p>診療報酬改定の本質を学ぶことは、国が管理栄養士に何を求めているのかを知ることです。それは、私達 の行政栄養士の機能強化もつながり、改定内容を理解しておくことは重要です。</p> <p>東京都栄養士会長西村先生からわかりやすく解説いただきます。</p> <p>昨年度、統計のお話をいただき大好評だった野口先生の講義を今年度も生涯教育に入れていただきま した。今年度のテーマは「見える化」。今後の業務に役立つこと間違いなし！ぜひご受講を。</p>		